

須賀川市立小中一貫教育校「稲田学園」令和2年度学園だより

とう 雲 稲 雲

第7号

令和2年6月29日発行

発行者：校長 小貫 崇明



○職場体験～7・8年生が生き生きと体験できました！～

新型コロナウイルス感染防止対策と臨時休業による学習の遅れを取り戻すため、多くの行事を延期・中止してきましたが、子どもたちの「学び」を深める大切な行事という認識から、本校の教育の4つの柱の1つである「キャリア・ふるさと」教育の一環として、7・8年生の職場体験を実施いたしました。

(写真：tetteで図書館業務の説明を真剣に聴く8年生→)



【働くことの喜びや楽しさ、難しさ等を実感する中で『大人への階段』を登る】

6月24日(水)・25日(木)に実施した職場体験。7年生は1日間、8年生は2日間の体験でした。あいさつや笑顔の大切さを感じた生徒、どうしてよいかわからなくなった時に職場の方にフォローしてもらった生徒、想像していた以上にその仕事の魅力を感じた生徒等々、様々な職場で様々な場面があったと思います。現場でしか味わえない「リアリティー」こそ、働くことの意味や自分の将来の姿に直結する「学び」であり、もしそこに夢や目標が見えたのであれば、その実現に向け「自分磨き」が始まるのではないのでしょうか。(写真：車にも犬にも愛情を注ぐ職場の方々の姿勢を学んだ8年生→)



【頑張る子どもたちは、地域の活力源になる！】

ある事業主様からは、「コロナ対応で疲れていたけれど、一生懸命頑張る生徒たちから元気をもらいました。」という言葉いただきました。ありがとうございます。出口が見えないコロナ禍の中、そしてお忙しい中、生徒たちを受入れて下さった各事業所の皆さんに心より感謝申し上げます。



○9年生は私立高校説明会を実施しました

6月25日(木)、保護者の皆様にもご参加いただき、9年生の私立高校説明会を実施いたしました。生徒たちは真剣に各高校の先生方の説明を聴いていました。



先日9年生の学級活動にお邪魔して、岩瀬地区中体連の代替え大会が開催されないことが決まったことを説明するとともに、これからの人生で夢を大切に生きていってほしいという話をしました。その際、『夢は逃げない、逃げるのはいつも自分だ』とか、『「夢」と書いて「みらい」と読む』などいくつかの言葉を紹介しました。9年生のみんなが、コロナ禍の中でも目標を見失うことなく夢を持って頑張りたいと強く願っています。そして、もう一つ夢に関する言葉を思い出しました。それがこの言葉です。この「夢だらけ」というところの前向きさが、なんとも心に残る表現です。